

平成26年度第1回日進市障害者自立支援協議会議事録

日 時： 平成26年6月23日（月）13時30分～16時00分

場 所： 日進市中央福祉センター多機能室北

出席者： 19名

加藤委員、竹内委員、脇田委員、林委員、二村委員、山田委員、柴田委員、手嶋委員、坂委員、森委員、三好委員、中村委員、田中委員、伊藤委員、青山委員、梶浦委員、佐藤委員、保竹委員、住田委員

アドバイザー： 川上氏（尾張東部圏域アドバイザー）

事務局 福祉部：加藤部長

福祉課：水野課長、川本主幹、小出課長補佐、小塚係長、小野主事

障害者福祉センター：宮田、伊藤、手塚、山、角、五藤、堀之内

欠席者： 5名 金山委員、坂委員、川上（智宏）委員、興柁委員、長谷川（厚）委員、

議 事

情報提供

1. 日進市障害者福祉センターの実績について
2. 自立支援協議会専門部会報告について
3. 日進市障害者福祉センターの次年度計画について
4. 日進市障害福祉計画の策定について
5. その他

|           |  |
|-----------|--|
| 事務局（センター） | <p>定刻を過ぎましたので、平成26年度第1回日進市障害者自立支援協議会を開催いたします。</p> <p>今回は、平成26年度初めての協議会となります。委員の任期は平成25年度から26年度末までの2か年となっておりますので、委員の皆様には引き続きよろしくお願いいたします。</p> <p>本日の欠席ですが、連絡をいただいておりますのが、金山委員、坂委員、川上智宏委員、興柁委員、長谷川厚委員の5名でございます。本協議会設置要綱第6条第3項において、会の成立には半数以上の出席が必要となっており、現在18名のご出席をいただいておりますので、本日の会議は成立します。</p> <p>それでは、年度の初めということですので、日進市の加藤福祉部長よりごあいさつを申し上げます。</p> |
| 福祉部長      | あいさつ   |
| 事務局（センター） | 続きまして、委員の構成員の変更がありましたので、ご紹介いたします。名簿20番の学校教育課の長谷川厚委員です。本日は、都合で  |

|            |   |
|------------|---|
|            | <p>欠席ですが、四月の異動にともないまして、前任の平山先生に代わり、今年度委員として出席いただくことになっております。<br/>また、事務局についても4月に異動がありましたのでご紹介します。</p> <p>(福祉課、障害者福祉センター職員自己紹介)</p>   |
| 事務局 (センター) | <p>当日配布資料の確認</p>  |
| 会 長        | <p>これからの議事の進行につきましては、会長にお願いいたします。<br/>それでは、議事に入る前に、本日の会議の傍聴について事務局に伺います。</p>  |
| 事務局 (センター) | <p>本日の傍聴者はありません。</p>  |
| 会 長        | <p>それでは、会議を進めたいと思いますが、次第に基づきまして協議会を進めさせていただきます。3時半をめどに進行を行っていきたいと思いますので、ご協力をお願い申し上げます。</p> <p>次第1. について、本日、尾張東部圏域アドバイザーである川上さんにお出席いただいておりますので、国や県、圏域の動向についてお話させていただきたいと思います。</p>  |
| アドバイザー     | <p>こんにちは。地域で暮らす障害のある方への支援ということで、ご報告します。</p> <p>医療費助成が前進しました。市町村によって医療費助成のありかたは大きく違います。各市町村の情報をまとめてあります。</p> <p>グループホームの整備促進については、大村知事も重要課題としています。愛知県自立支援協議会でも議論を重ねてまいりまして、「グループホーム整備促進支援制度」を実施していくことになりました。防火対策に関しては、規制を緩和する一方で、避難訓練などのソフト面で充実させていく。公営住宅を活用しやすくするために、愛知県障害福祉課が窓口となる。支援コーディネーターを配置し、グループホーム設置のサポートをする。関心が高いことが確認されています。圏域では今年、四つ新しくできると聞いており、順調には進んでいると思います。</p> <p>基幹相談センターについては、この圏域では日進市はすでにありますが、各市町村に設置を働きかけていくことが重点項目となりました。</p> <p>優先調達推進法について、6月27日を優先調達推進法の日とし、全国で一斉に首長を訪問するキャンペーンを実施することとなりま</p> |

|           |   |
|-----------|---|
|           | <p>した。</p> <p>成年後見について、利用が進んでおり、支援体制の整備が求められています。</p> <p>障害程度区分から障害支援区分へと4月から変わりましたが、国から、実施した状況を確認したいという話が出ております。</p> |
| 委 員       | <p>医療費助成について、ずっと要望してきた。日進市は通院のみ全額助成ですが、入院についても全額助成とはならないですか。</p>  |
| 会 長       | <p>現状についてはいかがですか。</p>   |
| 事務局（福祉課）  | <p>精神科の通院に関しては、自己負担部分の全額分を市の方で負担しています。</p>  |
| 会 長       | <p>精神科以外の他の科についての状況は？</p>   |
| 事務局（福祉課）  | <p>他科受診については、1級・2級の方は自己負担がありません。</p>  |
| 委 員       | <p>圏域のグループホームの整備について、地区や形式を教えてください。</p>   |
| アドバイザー：   | <p>瀬戸市内の法人が四つと聞いています。そのうち三つが国の補助対象。重心のグループホームを2ユニット分新しく建設する予定と聞いています。</p>   |
| 委 員       | <p>法人としても、グループホームの設置を検討している。一人暮らしの形というところに関心がある。</p>  |
| アドバイザー    | <p>サテライト型住居の説明。20分以内にかかけられる状態にしてあること。愛知県内ではまだ情報はないが、非常に期待しております。</p>  |
| 会 長       | <p>次に、議事に入ります。</p> <p>議題（1）平成25年度日進市障害者福祉センターの実績について事務局より説明願います。</p>  |
| 事務局（センター） | <p>（資料1により平成25年度実績を説明）</p>  |

|           |  |
|-----------|--|
| 会 長       | <p>議題（２）専門部会の報告について、各部会長から説明をお願いします。まずはケアマネジメント部会からお願いします。</p>   |
| 事務局（センター） | <p>ケアマネ部会長が所要で出席できないので、事務局よりご報告します。部会報告書により説明。議論の経過を記載している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 昨年度の部会ではサービス等利用計画の点検評価をしてきた。これを活用する考えではあるが、まず市内で計画作成ができる事業所が当センターしかないことから、相談支援事業所の確保を優先させるべきとして、昨年からの相談支援体制の整備に動いている。</li> <li>・ 部会では6事例の検討から課題の抽出を実施した。</li> <li>・ 事例①介護保険への制度移行に伴う問題。65歳で全身性身体疾患のある方の事例で、本人は居宅での生活継続を希望。支援をする中で65歳問題が見えてくるが、本市だけの問題ではなく、圏域会議でも取り上げるなど課題を明確にする必要がある。</li> <li>・ 事例②本人は家族とは暮らしたくないと希望。地域や関係機関と繋がりにくい事例。早期発見を図らなければ、知らないまま終わってしまうため、関係機関との信頼関係の構築が課題。</li> <li>・ 事例③自殺企図のある方への地域復帰。本人の気持ちが捉えにくく、支援や関係機関とのすり合わせが難しい。関係機関との連携の在り方について検討していく必要がある。</li> <li>・ 事例④一人暮らしを望む重度の障害がある方への支援。いきなり一人暮らしが難しいため、体験入所の場や男性ヘルパー不足の解消、インフォーマルな支援者の養成や確保が必要。</li> <li>・ 事例⑤親から離れて暮らしたい。残される家族が高齢者の為に支援が難しい事例。家族が地域から孤立する可能性もあるのでその支援も必要。</li> <li>・ 事例⑥施設入所中の利用者についての支援を充実できないか。本人は入所しか選択肢のない状態だが本人の希望を叶えながら前向きに生活するため、外部の支援につなげることを検討。</li> </ul> <p>以上、今後もケアマネ部会では児者共に個別支援事例の検討を重ね、地域の課題を整理し、支援につながるような検討を続けていきたい。</p> |
| 就労部会長     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 保護者への啓発を具体的に取組んでいった。軽度のお子さんで特別支援学級在籍の児がなかなかサービスにつながらなかったため。</li> <li>・ 就労系福祉サービスを知っていただく福祉勉強会、事業所見学ツアー、座談会を実施。就労継続AB、生活介護事業所を対象</li> </ul>  |

|                 |  |
|-----------------|--|
| <p>子ども部会副部長</p> | <p>とした。目的は、市にある社会資源を知っていただき、働くイメージを対象者に知っていただく。対象は市内の特別支援学校、学級（中学）に在籍の保護者。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 基礎知識勉強会は実施済み。行政から福祉サービスの制度について説明され、その後各事業所の紹介を行った。相談支援事業についても合わせて紹介したところ、帰り際に2名が相談につながった。</li> <li>・ 見学ツアーは、対象者に実際の就労現場を見ていただくために実施する。今年度の7月9日を予定し、現在参加募集中。</li> <li>・ 座談会は、9月に実施予定しており、これまで関わった事業所に参加してもらい、より深めた質疑応答をしてもらう。</li> <li>・ 機関誌について、25年度は発行に至っていない。(株)オノダにはインタビュー済。</li> <li>・ 商工会に協力いただき、アンケート実施し、25社からの回答があった。今後の課題は、企業訪問、ヒアリングを実施し、企業が障害者雇用を広げられるようになることが課題。</li> <li>・ その他、日進市のニッシークッキーを利用してなにかできないかなどの案がでた。</li> </ul> <p>早期療育、保育、学校現場、障害福祉サービスについて等課題について意見が上がった。個々の課題から、学齢期に限らない関係機関の連携を今年度の課題とした。</p> <p>優先的に取り組む課題として</p> <p>① 療育機関同士の連携</p> <p>H26年度より2事業所が児童発達支援事業を開始。事業所間の連携強化を図るため、児童発達支援連絡会を開催。現在までに3回実施。保護者への情報提供、個別支援計画の支援目標共有等を実施。</p> <p>② 地域の保育園、幼稚園、学校での指導スキル向上</p> <p>特別支援教育コーディネーター研修会に発達支援セミナーが参画して実施。</p> <p>③ 保育園、幼稚園、学校、市内事業所間での情報共有の不足</p> <p>三好特別支援学校、放課後等デイへの見学を特別支援コーディネーター研修会に盛り込むことを検討。</p> <p>今後の方向性について、連絡会、見学会の立ち上げ。特別支援教育コーディネーター研修会参画の継続。第1回は5月20日に開催し、今後8月、12月、3月に実施予定。三好特別支援学校等の見学実施。</p> |
|-----------------|--|

|                |   |
|----------------|---|
| <p>権利擁護部会長</p> | <p>平成25年から、居住サポート部会と権利擁護部会が合わさり、どのようにこれまでの課題を扱っていくかについて検討を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 虐待防止法の啓発に関して、事業所交流会を通じて虐待防止法を浸透させていきたい。また、一般の方へも啓発を行っていききたい。</li> <li>・ 事業所交流会で災害時対応についてのグループワークを行った。参加事業所にとって情報交換の機会となった。次回より具体的な事例を設定して深めていきたい。避難訓練のありかたについても情報交換を行った。地域によって防災のあり方が違っているため、地域の情報を支援者が把握しておくことも重要。今後も、事業所交流会は年に3～4回程度行っていきたい。</li> <li>・ 災害支援に関して、要援護者の支援者向けサポートブックをどう活用していくかについて検討した。今後、生かしていくために、想定されていた災害時避難所以外にも、事業所や自主防災組織にも配布することを検討している。</li> </ul> |
| <p>会 長</p>     | <p>ありがとうございました。</p> <p>4つの部会それぞれについて、ご意見ご質問はございませんか。</p>  |
| <p>アドバイザー</p>  | <p>ケアマネ部会は個別ケースからの課題の抽出が進んできている。就労部会は資料の体裁が参加者にはわかりにくかったのでは。有用なことなので今後さらに進めていただきたい。</p> <p>子ども部会について、ひきこもりの課題が大きくなっている。今後意識して扱っていただけるとありがたい。</p> <p>権利擁護部会は、サポートブックを作成するだけでなく、どう生かしていくかを検討する必要がある。</p>  |
| <p>委 員</p>     | <p>権利擁護部会に所属している。防災の関係で進んでいるが、地域の中で、民生委員の中で情報が広がっていくことを感じている。</p> <p>先日民生委員が初めて訪ねてこられたが、コミュニケーションをとることができなかった。娘と話をしており、本人と話すことができなく、お助けカードを書いて渡せばよいのではという話で終わってしまい十分でないと感じた。聴覚障害者とのコミュニケーションが難しいことを知ってほしい。実際に会ってみないと相手のことはわからない。民生委員だけでなく、近所の方々へ意識が広がっていくといい。</p>   |
| <p>権利擁護部会長</p> | <p>地域の方が助け合う、地域支援の中で民生委員は大きな位置を占めている。サポートブックの周知から、障害特性の理解をすすめて</p>  |

|           |  |
|-----------|--|
| 委 員       | <p>いただきたいと考えている。</p> <p>権利擁護部会では知的障害や入所の方が中心となって話が進んでいるようだ。視覚・聴覚障害などすべての障害に関して、権利擁護のあり方を検討していきたい。</p>  |
| 委 員       | <p>ケアマネ部会について相談支援事業所の確保と、計画の質の担保は別問題としてとらえていただきたい。</p>   |
| 事務局（センター） | <p>計画の内容に関しては、現状は、相談支援センターと市の方でダブルチェックを行い、または、モニタリングを行い、進捗状況を見たりと検証して計画を立てている。相談員が立てた計画書は利用者の方に見ていただき、確認の上、サインをいただくことになっているので、個々の計画に関して不足なり疑問を感じるがあれば、ぜひ相談員に直接伝えていただきたい。</p>                       |
| 事務局（センター） | <p>補足説明、計画他市町の事業所で、不透明な計画が立てられたときに、提出された計画を精査するためにチェックリストをつくった経緯がある。他事業所での作成計画に関しては、基幹相談センターで添削をし、また、各計画はすべての相談員、すべての市職員でチェックをして作成している。</p>  |
| 委 員       | <p>計画についてはやっているということでわかりました。他の部会からもそれぞれ関係部門との連携についてが課題で上がっていた。関係機関の連携について、相談専門員がキーパーソンとなって生涯をマネジメントを担ってもらえないのかという思いがあった。障害福祉制度でも介護保険でいうケアマネージャー的な役割があると思っている。介護保険のケアマネージャーのような人数を確保しようとしているのか。</p> |
| 会 長       | <p>計画相談に関して、目標値を達成されたあと、どのような見通しでいるのかという質問に置き換えさせてもらっていいか。</p>   |
| 事務局（福祉課）  | <p>障害福祉計画の中でも検討している。今後の課題として、アウトリーチの支援が不十分であると考えている。例えば、就労支援、在宅で事業所に行きづらい方など。そういった支援に関しても今後は重視していく方向になると考えている。</p>   |
| 会 長       | <p>相談支援制度のしくみの難しさがある。利用者にとってわかりに</p>   |

|           |  |
|-----------|--|
|           | <p>くい制度になっている。相談支援が個別給付という仕組みに変わって、相談支援の仕組みを委員の皆様にも、よくご理解をいただいて考えていただければと思っている。部会からの説明にもあったように、私自身は、日進市は機能的に動いていると思った。他の市（事業所）から自分のところでもできますよと言われても、正しいニーズとして必要なサービスが担保された計画になっているかということについて、見るのが難しいことを国は想定しておりまして、国は市に基幹相談支援センターを置いてもよいとしている。日進市は基幹相談支援センターを置き、利用者のためにサービスを提供する計画のチェック機能を働かせているということになる。</p> <p>この協議会で専門委員へ質問が出るようになってよい。この中で意見を出し合える状況になっており、よろこばしいと思う。</p>  |
| 事務局（センター） | 計画作成におけるセンターの役割等の考え方について補足説明。  |
| 会 長       | 次に議題（３）平成２６年度障害者福祉センターの事業計画について事務局より説明願います   |
| 事務局（センター） | （資料３の報告）   |
| 会 長       | 議題（４）日進市障害福祉計画について事務局から説明をお願いします。  |
| 事務局（福祉課）  | <p>（日進市障害福祉計画の策定状況について報告）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 資料４：第４期障害福祉計画を自立支援協議会の検討部会にて計画の策定を行っている。第１回を５月２７日に開催した。</li> <li>・ 資料５：第４期障害福祉計画では新たにPDCAサイクルが導入された。総合支援法で定期的に定められた指針に基づいて評価、公表する。</li> <li>・ 障害福祉計画では各障害福祉サービスの見込み量を設定する。</li> <li>・ 資料６は市が作成した計画書のたたき台。第３章で成果目標の案を記載している。</li> <li>・ 当日資料のアンケート資料は作成途中のもの。完成した報告書は後日提供予定。</li> <li>・ 資料７は、過去５年間の障害福祉サービスの実績を載せている。</li> <li>・ グラフの変化は法改正に伴う事業の改編や新規の事業増加に伴う変化と捉えている。</li> </ul> |
| 会 長       | ただいまの説明に関して、ご質問、ご意見等ございますか。  |



|                 |  |
|-----------------|--|
| <p>事務局（福祉課）</p> | <p>議題（５） その他で事務局何かありますか？</p> <p>当日配布資料（後期計画の抜粋）で説明。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 障害者基本計画の後期計画の主な進捗状況について説明。「</li> <li>・ 1－1（２）グループホームの整備を国県補助の活用により支援。</li> <li>・ 1－2（２）自立支援協議会推進体制の見直しについて、障害者政策委員会、基本計画策定委員会、自立支援協議会３つの組織を見直し、策定委員会を廃止し、政策委員会と自立支援協議会の２つの機能で担う。</li> <li>・ （３）権利擁護の推進について、虐待防止ネットワーク会議を高齢者虐待と障害者虐待を統合した。</li> <li>・ 2－1（２）就労支援事業所の開設支援、就労支援事業所の開設を募集し、今年度中に開設に向けて動いている。２か所の応募がある。</li> <li>・ （３）優先発注について、市では４月１日の政策推進会議で説明。同法を念頭に市役所で物品購入等推進していく。</li> <li>・ 公共施設のバリアフリー化について、福祉部と建設経済部で合同勉強会を開催。職員の意識向上を主旨とする。勉強会をきっかけとして、市民の意見を取り入れるよう努めている。</li> <li>・ 2－4（１）移動支援については、昨年度からの引き続きで、名城大学が作成したアンケートに回答をもらい、移動支援の在り方について検討中。</li> <li>・ 3－3（３）地域福祉計画を26年度中に策定する。</li> <li>・ 3－4（２）緊急通報サービスの周知Web119、Web110をにっしんの福祉にて情報提供をしている。</li> <li>・ 3－5（１）緊急警報器の設置について、26年度中に中央福祉センターと障害者福祉センターに設置する。</li> </ul> |
| <p>委 員</p>      | <p>福祉課に質問する。障害者権利条約が施行され、手話言語の項目が含まれている。手話言語条例が他の市町でも立てられている。日進市は今後どうしていくのか？地域として考えていくことを計画に盛り込む予定はあるか。</p>  |
| <p>事務局（福祉課）</p> | <p>国からは具体的な施策が出ていないので、今のところ市としての動きはない。</p>   |
| <p>委 員</p>      | <p>全国の市町村は国のアプローチを待たずに議論を進めている。そうした情報は将来、国からも提示されるだろう。国からの方向性が</p>   |

|           |  |
|-----------|--|
|           | <p>出る前に、日進市は全国の情報をつかむべき。情報アクセスは聴覚障害に限らず、障害者全体の問題である。手話は言語である、聴覚障害者の言語としての手話言語が差別されている状態にある。全ての公的な機関のあらゆるところで今後手話を学ばなければならなくなる。にもかかわらず日進市の施策にそうしたことが盛り込まれていないことが不安である。日進市も手話教育への取り組みを計画の中に盛り込んでいくべきではないか。</p> |
| 会 長       | <p>権利条約を元に国が何らかの法律を作る。日進市は国からの法律を待つのではなく、具体的にそれを施策に盛り込むべきとの指摘か。</p>  |
| 事務局（福祉課）  | <p>各自治体の情報収集に取り込んでいきたい。</p>  |
| 会 長       | <p>委員にお伺いするが、どの専門部会でその議題を扱ったらよいか、お考えはあるか。</p>  |
| 委 員       | <p>その線引きは難しい。一つの部会に絞る、ということではなく全ての部会で取り扱ってもらいたい。これは聴覚障害者に限ったことではなく全ての障害者に関わる問題である。</p>   |
| 事務局（福祉課）  | <p>障害者後期計画では具体的には載せていないが、情報バリアフリーについて検討していくということは盛り込んでいる。その中でどういった事業を実施していくべきかを検討していく。今年度の障害福祉計画は議論に入ったばかりだが、計画に記載はないものでも、必要があれば市として取り組んでいくつもりではいる。</p>  |
| 会 長       | <p>それでは、これで議事を終了します。本日は、活発なご議論を頂きありがとうございました。</p>  |
| 事務局（センター） | <p>会長ありがとうございました。次回の協議会は7月28日（月）午後1時30分から中央福祉センターこの会場を予定しております。また、今後の年間予定を次第の下欄に事前にお示ししましたので、ご予定をお願いしたいと思います。</p> <p>それでは、これで、第1回日進市障害者自立支援協議会を終了します。ありがとうございました。</p>  |